

令和7年度 高校生川柳 受賞作品 講評

【大賞】

【句】一人では 作り出せない 音がある	作) 曽根 明香里 様 (大阪府立春日丘高等学校)
【講評】	
①ブラスバンドや合唱、バレーボールやサッカーなど団体の演奏や競技はチームワークが大切です。「作り出せない音」がとてもいい表現です。	
②大人数で息の合った演奏ができた時の感動が伝わりました。まさに青春、の一句です。	

【受賞者のコメント】

この川柳は、自分の部活のことを想像して作りました。私の部活だけではなく、皆さんの部活や日常にも「一人では作り出せない音」がきっとあると思いますので、ぜひ探してみてください。

【傑作賞】

【句】暑すぎる リモート授業 しませんか	作) 鈴木 れあ 様 (愛知県立豊明高等学校)
【講評】	
①今年の暑さは特別で、7月には猛暑日が続き、リモート授業にして欲しいとの気持ちがよく分かります。	
②社会人の私たちも、この夏通勤が辛くてリモートワークにならないかと何度も感じたことか。とても共感しました。	

【受賞者のコメント】

このたびは私の作品を受賞作品に選んでいただけたこと、大変嬉しく思います。この川柳は夏の暑さから毎日の登下校が大変で、「リモートだったら、ずっと涼しい部屋でゆっくり過ごせて快適なのに・・・」と感じ、書いた川柳です。

【句】オムライス あなたの味方 母の文字	作) 粥川 葵 様 (岐阜県立山県高等学校)
【講評】	
①受験生のお子さんに、お母さんがオムライスに“頑張って”とケチャップで書いてくれました。大きな励みになりましたね。	
②模試や定期テストのお弁当でしょうか。それとも部活の試合？ いずれにしても、子どもが落ち込んでいるなら元気づけたい、と思う親心がちゃんと伝わったことにほっこりした一句でした。	

【受賞者のコメント】

お弁当箱を開けた瞬間のことを詠みました。辛い時に母が励ましてくれました。お母さん、ありがとう。

【句】 眠くとも 皆勤賞が 起こす朝	作) 仮屋 翔馬 様 (三重県立紀南高等学校)
【講評】	
<p>①3年生も皆勤賞を取りたいとの気持ちがよく分かります。擬人法を使ってうまく出来ています。</p> <p>②せっかく3年生まで頑張ったのだから、ここまで来たら自由登校になっても皆勤賞狙いたいですよね。きっと将来自慢になりますよ。(経験談)</p>	
【受賞者のコメント】	
<p>6,000句を超える応募の中から受賞できて、とても嬉しいです。実体験を、素直に詠んだことが良かったのだと思います。夜更かしをしてしまった翌朝、起きるのが辛くて遅刻しそうになったことが何度もありました。でも、この受賞を受けて、やる気がますます高まりました。なんだか皆勤賞が取れそうな気がしています。本当にありがとうございました。</p>	

【句】 部屋中の汚れ気になるテスト前	作) 要田 愛理 様 (山口県立長府高等学校)
【講評】	
<p>①テスト勉強に集中したい時に部屋が雑然としていては落ち着きません。すっきりした部屋の中で勉強すれば能率は上がります。</p> <p>②普段は多少散らかっていても放置しているのに、勉強から逃避したくなる気持ちが間接的にしか的確に伝わりました。</p>	
【受賞者のコメント】	
<p>テスト前の憂鬱な気持ちと、現実逃避したくなる気持ちを込めて詠みました。今回、受賞することができると思っていたなかつたので、とても驚きましたが、嬉しく思います。ありがとうございました。</p>	

【句】 部活後の 自販機前が 社交場に	作) 香山 翔太 様 (神戸市立須磨翔風高等学校)
【講評】	
<p>①部活を終え自販機で飲料水を買い、みんなでワイワイガヤガヤ雑談をするのは楽しいひと時です。</p> <p>②同じ部活の仲間だけでなく、他の部活の生徒も集まって情報交換や励まし合いをしている様子が、「社交場」というワードにうまくまとめられていると感じました。</p>	
【受賞者のコメント】	
<p>夏に感じた一瞬の出来事を一句にまとめました。</p>	

<p>【句】 思い出す ハッと答えが テスト後に</p>	<p>作) 加藤 里桜奈 様 (大橋学園高等学校)</p>
【講評】	
①試験中は分からなかった答えが家に帰ったとたんやお風呂に入っている時などに思い出す経験はどなたにもありますよ。	
②最後に持ってきた「テスト後に」が、なんで今さら思い出すんだよ～！という悔しさがにじみ出でていて共感を覚えました。	
【受賞者のコメント】	
受賞できてとてもうれしいです。	

<p>【句】 部活後に 風呂で疲れを ふっと bath</p>	<p>作) 榊原 康介 様 (愛知県立天白高等学校)</p>
【講評】	
①「ふっと bath」に笑ってしまいました。これからもユーモアのある作品を作ってください。	
②ダジャレを取り入れた川柳はいくつかありましたが、その中でもいちばん勢い？のあるこちらに、高校生らしい若さを感じました。	
【受賞者のコメント】	
この度は素晴らしい賞をいただき、誠にありがとうございます。日常の学校生活の中で感じた思いを言葉にした1句でした。今後も川柳という形で日常の中で気付いた事等を言葉にして川柳に親しんでいきたいと思います。	

<p>【句】 値上げして 買うのためらう うまい棒</p>	<p>作) 山下 一真 様 (姫路市立飾磨高等学校)</p>
【講評】	
①うまい棒も長年一本10円でしたが、今は税込みで16円に上がりました。ためらう気持がよく分かります。	
②安くて美味しい学生の味方「うまい棒」を使って、昨今の物価高を嘆く一句が選ばされました。	
【受賞者のコメント】	
普段何気なく思っていたことが十七音にはまつたので詠んでみました。いろいろなものが高くなっている最近なので、学生としてもつらいです。	

【句】探究心 夜空に広がる 星仰ぐ

作) 富田 乃依 様 (星城高等学校)

【講評】

①無数の星が輝く空を見ていると宇宙はどうして出来たか、星の数はいくつあるかなど探求心がワクワクします。

②ひとり夜空を見上げながら、将来はどうしようかと進路に悩む姿を、学園のキーワード「星を仰げ。」を使って表現した一句が選ばされました。

【受賞者のコメント】

夏休みの時に参加した合宿で夜の星空を見る機会がありました。その時の思い出と、高校生である自分の将来に対する逡巡を川柳にしました。受賞することができ、とても光栄です。

【審査員】

中日川柳会 会長 荒川 八洲雄 様
星城大学 高校生川柳 審査委員